

盛岡ひがし支援学校

研究テーマ

「日常の『授業づくり及び事例の検討』による学校教育目標を見据えた学部目標の追求」(R3～R5)
～「授業ライブラリー」の作成と活用を通して～

1 全体研究

(1) 研究の目的

日常の授業づくり及び日常の事例の検討により、学校教育目標「児童生徒一人一人の可能性を伸ばし、心豊かで主体的に生きる人を育成する」を見据えた学部目標を児童生徒一人一人の中に追求していくこと。

(2) 研究の内容

担当、各学級、学年、グループ、学部の「日常の授業づくり」及び「日常の事例の検討」を必要に応じ、関わる教職員で行う。

(3) 研究の方法

ア 会議等は、既存の職員会議、学部会、学年会等を活用することを基本とする。

イ 「日常の授業づくり」及び「日常の事例の検討」に以下の5つの資料を活用する。

- ・「学習指導要領」の基本的考え方を見据え、特にも特別支援学校学習指導要領解説各教科等編に示された各教科の「目標・内容の一覧」を活用する。
- ・岩手県教育委員会の各年度の「学校教育指導指針(特別支援学校)」に示された内容、特にも「Ⅶ特別支援学校教育の指導の要点」を活用する。
- ・必要に応じて、岩手県立総合教育センターの各年度の「特別支援学級経営の手引」より情報を得る。
- ・「学習指導要領解説各教科等編」に示された「知的障がいのある児童生徒への教育的な対応(1)～(10)」を活用する。
- ・各教科等を合わせた指導を行うに当たっては、学習指導要領解説各教科等編に示されてある「3 指導の形態について(3)各教科等を合わせて指導を行う場合」を踏まえる。

ウ 「授業ライブラリー」を作成し活用する。授業ライブラリーには、可能な場合指導略案を添える。

エ 周知・報告は、「岩手県高等学校教育研究会特別支援教育部会 研究集録」による。

(4) 今年度の実践

個別の指導計画を作成するための資料に各教科の「目標・内容の一覧」を位置付けた。

これをベースに、各担当者が各学級、学年、グループ等の「日常の授業づくり」及び「日常の事例の検討」を必要に応じて既存の会議等を活用しながら取り組んだ。

これらの研究成果について、授業の動画データ及び指導略案(可能な場合)を募り、共有画像フォルダ内に以下の分類による48本の授業の動画データを収めた「令和3年度授業ライブラリー」を作成し、活用することができた。

ア 教科による指導	01 国語
	02 算数(数学)
	03 音楽
	04 図画工作・美術
	05 体育・保健体育
	06 その他
イ 教科以外の指導	07 自立活動
	08 その他
ウ 各教科等を合わせた指導	09 日常生活の指導
	10 遊びの指導
	11 生活単元学習
	12 作業学習

2 講演会

演題：学校教育に求められること

～医療の現場から～

講師：未来の風せいわ病院

理事長 智田 文徳 氏

期日：令和3年8月2日(月)

参加者：114名

3 研修会

校内研修会(8月6日)

講師：岩手大学教育学部特別支援教育科

准教授 鈴木 恵太 氏

4 刊行物

研究集録は刊行していません。